



平成 19 年 2 月 9 日

各 位

会社名 イフジ産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤井 徳夫
 (JASDAQ・コード番号 2924)
 問合せ先 常務取締役 経営企画室長
 仁田坂 功
 電話番号 092-938-4561 (代表)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年11月8日の中間決算短信発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想 (非連結) の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,690	350	192
今回修正予想 (B)	9,100	56	10
増減額 (B - A)	410	294	182
増減率	4.7%	84.0%	94.8%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	8,886	165	260

2. 通期業績予想修正の理由

売上高の修正

販売数量が順調に推移していることや、鶏卵相場が予想よりも高く推移しているため、売上高が前回予想よりも増加する見込みとなったためであります。

経常利益、当期純利益の修正

期を通じて鶏卵需給がタイトに推移し十分な買付けができませんでした。これは、平成 17 年に茨城県で発生した鳥インフルエンザの収束により次第に鶏卵の生産量が回復し、当期の後半は鶏卵の需給が緩み原料購買環境がよくなると予想し、夏場の買付けを抑えたためであります。しかしながら、鶏卵需給は思いのほか緩まず鶏卵相場は比較的堅調に推移しました。そのため、需要期である 11～12 月に得意先への安定供給のためにスポット買いによる原料手当てを行いました。また、本年 1 月に鳥インフルエンザが再び国内で発生したこともあり、原料購買環境が引き続き厳しい状況になると予想されます。以上のことから、原料仕入コストが増加し、当初予想の損益を達成することが困難となったためであります。

3. 配当予想の修正

	中間期	期末	年間
前回発表予想		12 円	12 円
今回修正予想		5 円	5 円
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)		10 円	10 円

4. 配当予想の修正理由

上記のとおり業績が前回発表予想を下回る見込みのため、誠に遺憾ながら期末配当金の予想金額を当初の 12 円から 5 円に変更させていただく予定であります。

上記の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績が記載の予想と大幅に異なる結果となる可能性があります。

以上